



4月12日は県議会議員選挙、4月26日は市議会議員選挙の投票日です。どちらも私たちにとって身近な選挙です。私たちの一票一票の積み重ねが、これからの新潟県や白根市をつくりあげることにつながります。よく見、よく聞き、よく考えて、大切な一票を棄権することなく投票しましょう。

4月12日は県議会議員選挙の投票日です 4月26日は市議会議員選挙の投票日です

県議会議員選挙

白根市で投票できる人
昭和42年4月13日までに生まれ、62年1月2日以前から引き続き白根市の住民基本台帳に登録されている人。

他市町村から転入した人
62年1月3日以降に県内の他市町村から転入した人は、前の住所地（選挙人名簿に登録されていること）で行われる県議選に投票することになります。

この場合、引き続き県内に居住しているという証明書が必要で、証明書は市民生活課で発行しています。

市議会議員選挙

投票できる人
昭和42年4月27日までに生まれ、62年1月18日以前から引き続き白根市の住民基本台帳に登録されている人。

したがって、1月19日以降に転入

市議選立候補手続き説明会

市議会議員立候補予定者の立候補手続きや、選挙運動などの説明会を次の日程で行います。

□とき 3月26日 午後1時30分から
□ところ 市役所4階・大会議室

お問い合わせ：白根市選挙管理委員会事務局（市役所4階・☎373-2111内316）

した人や、他の市町村に転出した人は投票できません。

都合の悪い人は不在者投票ができます

投票日当日に仕事や用事、出産予定など、やむをえない事情で投票所へ行けない人は、事前に不在者投票をしておくことができます。

不在者投票の期間は次のとおり。

■県議会議員選挙…4月3日(金)から4月11日(日)まで
■市議会議員選挙…4月19日(日)から4月25日(土)まで

いずれも午前8時30分から午後5時まで。土曜日、日曜日でもできます。投票場所は市役所4階・選挙管理委員会事務局です。印鑑を忘れずにお持ちください。

身障者は郵便で投票することができます

重度の身体障害者で、次に当てはまる人は、郵便で投票することがで

きます。

▶身体障害者手帳を持ち、①両下肢か体幹の障害が1級か2級の人
②心臓、腎臓、呼吸器、排泄器の障害が1級か3級の人

▶戦傷病者手帳を持ち、①両下肢か体幹の障害が特別項症から第2項症の人
②心臓、腎臓、呼吸器の障害が特別項症から第3項症の人

●投票用紙の請求

投票日の4日前（県議選＝4月8日、市議選＝4月22日）までに、郵便投票証明書、を添えて、投票用紙を請求してください。

今までに郵便投票証明書の交付を受けていない該当者は、早めに選挙管理委員会事務局に申請してください。すでに交付を受けている人でも、有効期間（4年）が過ぎているときは、早めに再申請してください。

証明書の交付を受けようとするときは、身体障害者手帳か戦傷病者手帳を持ってきてください。代理人でもかまいません。

選挙にかかわる贈り物は…
贈らない
求めない
受け取らない

選挙がないと、つい忘れがちになってしまふ寄付の禁止。
政治家や候補者が選挙区内の人に金品を贈ったり、それを有権者が受け取ったり、求めたりするのは公職選挙法で禁止されています。

●卒業、入学、就職祝い
にお金や品物を贈ること。

●結婚や出産祝い
にお金や品物を贈ること。

●開店や落成祝い
に花輪やまたお慶式に香典、供花を贈ること。

●選挙区からの訪問者
に食事を出したり、おみやげ品を渡したりすること。

日ごろから、きれいな選挙を心がけましょう。



2月1日、2日のスキー研修

講座生を募集します

来年度の「白根市農業大学講座」の受講生を募集します。農業技術を取得しながら仲間づくりを希望する、ファイトある農業青年の皆さん、積極的に参加してください。本年度受けられた人も、ぜひ継続して申し込んでください。

| 研修コース | 学習内容 | |
|------------------------------|----------------|---|
| 稲作 果樹 そ菜 花き花木 畜産 | 各技術研修会 | (各コース合同) 農政講演会 先進地視察 スポーツ交流会 スキー研修会 |
| 総合 | 簿記記帳・コンピューター指導 | |

- 開設期間 62年4月から63年3月までの1年間(開講式は4月中旬の予定)
 - 主な会場 白根市農業会館
 - 対象者 初めて農業に取り組む、または取り組んで2年以上の市内の農業青年
 - 研修内容 担当部門の充実拡大や経営管理能力の養成、仲間づくりを目的とした各種専門的な研修。各コースは受講者が選択
 - 講師 農業改良普及員ほか大学教授、県専門技術員、農業団体職員、指導農業士、学識経験者
 - 経費 受講料は無料。ただし、宿泊研修、先進地視察研修などでの必要経費は一部個人負担
 - 申し込み 3月31日までに白根市農業会館(☎372-1125)か、各農協へ申し込んでください。
- 主 催：白根市農業振興協議会
中東蒲原農業改良普及所

場も考えていきたいと思ひます。講座を基礎にみんなで研究したい。今までは、私も含め受講生は比較的受け身だったと思ひます。これからは講座で学んだものを基礎にして、講座以外にも何か目的を持って学習できるものを見つけない。コースに関係なく、やりたいことを自分たちで計画、実践し、その結果をまたみんなの話し合いの中で見つめるといふように。自分のことだけでなくほかの人がやったことも参考にし、これからの農業経営に役立てていきたい。司会 具体的にどんなことをやってみていいですか。

ますよね。ちよつと違った形でやってみたらおもしろいんじゃないでしょうか。高野 現在、各地でお互い競争しながら地域性を生かした特産物づくりにみんな非常にがんばっていますね。白根でも地盤を生かした作物の選定や特産物づくりを進められるよう、みんなで考えていくのも必要なことだと思います。たんぼを借りて生産組織の練習 本永 講座でたんぼを借りてみたらどうだろう。相田 借りたたんぼで生育調査や簿記など、一連のものをやってみてみたいね。本永 機械なども調達してきて、借用代がいくらで、どれくらいもうかるとか。大橋 農青サークルが、その方法で大豆を作っています。そうすれば、みんなで作業しなければならぬ。やはりこれからは組織的に動かなければだめですから、その練習にいいんじゃないですか。星 それから、座談会のような形式で地域の篤農家の話を聞いてみたい。

司会 この講座をみんなで盛り上げていくんだという積極的な気持ちがあれば、きっとできると思ひます。厳しいのは農業だけじゃない 星 現在、テレビや新聞で評論家が、農業が厳しいだとかいろいろのことを言っています。ほかの産業に比べればそうでもないと思ひます。今なんか、円高で農家以上に厳しいところだってたくさんあるわけですね。それでも一生懸命必死に努力している。農業だつて、それなりの産業として今後の発展もあると私自身、考えていますし、これからは講座には進んで参加してみようと思ひています。星野 私は農閑期には動いているので、残念ながらあまり参加できませんでしたが、でも、同じ農業に取り組む仲間として、ここで知り合った人々を大切にしていきたい。来年は積極的に参加します。田村 この講座をこれから繁栄させるために、新聞や広報しるねなどで積極的にPRしてください。後継者認定とはまた

違った魅力があれば、もつとたくさん人が集まると思ひます。星 たとえ人数が少なくなつても、講座をやめてほしくありません。我々の後に続く者が、学校を卒業してから家で一人ぼっちで農業をしていたなんてことになつたら、ほんとうにさびしい話ですから。それに、物事というのは流れだと思ひます。一度悪い方向に流れてしまつたら軌道修正するのが大変だから、いい方向へ進む気持ちでがんばりたい。これからは我々後継者と積極的につきあつてください。司会 今日は貴重な意見を出していただき、ありがとうございます。たいへん前向きな意見が出ていますので、来年度の講座が始まる前に、一度みんなで集まって計画を立てることにしましょう。そして、それを基にして講師に話をしてもらうとか。とにかく、この講座を意義あるものにするかどうかは、皆さん自身の手にかかっています。この意気込みで、これからもよろしくお願ひします。